

救急救命の基礎

責任者・コーディネーター	構造生物薬学分野 阪本 泰光 教授		
担当講座・学科(分野)	構造生物薬学分野、情報薬科学分野		
対象学年	2～4	区分・時間数	講義 1.5 時間 演習 4.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	0.5 単位		

・学修方針（講義概要等）

薬局には、様々な疾患を有する患者が来訪する。また、災害時には、多数の傷病者が発生する。体調が急変した患者、災害による傷病者への迅速な対応が、その後の救命に大きく影響する。救急車が到着する前の一次救命処置を、薬局実習に臨む前の学生が身につけることは非常に重要であり、本講義、演習を通じて、上級救命講習に準ずる知識と技能を身につけることを目的とする。

・教育成果（アウトカム）

本講義、演習を通じて、上級救命講習に準ずる知識と技能を身につけ、一次救命を適切に行うことができるようになる。
(ディプロマ・ポリシー：1, 4, 5, 6, 9,)

・到達目標（SBO）

1. 一次救命に必要な早期認識、通報を行うことができる。(886)
2. 心肺蘇生やAEDによる救命措置を行うことができる。(886)
3. 異物除去、止血を行うことができる。(886)
4. 傷病者管理、搬送を行うことができる。
5. 災害時における医療について説明できる。(885, 1026, 1027, 1058-1060)

・講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
12～1月 予定	未定	4 限 予定	構造生物薬学分野	阪本 泰光 教授 氏家 悠貴 助教	講義：ICU および DMAT における薬剤師 1. ICU における薬剤師の働きについて説明できるようになる。 2. DMAT における薬剤師の働きについて説明できるようになる。 (講師：秋田大学医学部附属病院 主任薬剤師 八木 さおり 氏) 事前学修：ICU、DMAT について学んでおく 事後学修：講義資料復習する。

【演習】

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
12～1月 予定	未定	1 限 予定	構造生物薬学分野 情報薬科学分野	阪本 泰光 教授 氏家 悠貴 助教	<p>演習：上級救命講習に準ずる内容 心肺蘇生やA E D、異物除去、止血 法、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管 理、外傷の応急手当、搬送法一次救命 に必要な早期認識、通報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心肺蘇生やA E Dによる救命措置 を行うことができる。 2. 異物除去、止血を行うことがで きる。 3. 傷病者管理、搬送を行うことがで きる。 <p>(講師：盛岡南消防署矢巾分署職員) 【グループワーク】【ロールプレイ】 事前学修：総務省の応急手当て WEB 講習上級救命講習編を必ず受講し修了 テストを受験しておくこと 事後学修：演習で身につけたこと、配 布されたテキストを参考にし、一次救 命措置が必要な事態に対応できるよ うにする。</p>
12～1月 予定	未定	2 限 予定	構造生物薬学分野 情報薬科学分野	阪本 泰光 教授 氏家 悠貴 助教	<p>演習：上級救命講習に準ずる内容 心肺蘇生やA E D、異物除去、止血 法、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管 理、外傷の応急手当、搬送法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一次救命に必要な早期認識、通報 を行うことができる。 2. 心肺蘇生やA E Dによる救命措置 を行うことができる。 3. 異物除去、止血を行うことがで きる。 4. 傷病者管理、搬送を行うことがで きる。 <p>(講師：盛岡南消防署矢巾分署職員) 【グループワーク】【ロールプレイ】 事前学修：総務省の応急手当て WEB 講習上級救命講習編を必ず受講し修了 テストを受験しておくこと 事後学修：演習で身につけたこと、配 布されたテキストを参考にし、一次救 命措置が必要な事態に対応できるよ うにする。</p>

12～1月 予定	未定	3限 予定	構造生物薬学分野 情報薬科学分野	阪本 泰光 教授 氏家 悠貴 助教	<p>演習：上級救命講習に準ずる内容 心肺蘇生やAED、異物除去、止血法、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一次救命に必要な早期認識、通報を行うことができる。 2. 心肺蘇生やAEDによる救命措置を行うことができる。 3. 異物除去、止血を行うことができる。 4. 傷病者管理、搬送を行うことができる。 <p>(講師：盛岡南消防署矢巾分署職員) 【グループワーク】【ロールプレイ】 事前学修：総務省の応急手当てWEB講習上級救命講習編を必ず受講し修了テストを受験しておくこと 事後学修：演習で身につけたこと、配布されたテキストを参考にし、一次救命措置が必要な事態に対応できるようにする。</p>
-------------	----	----------	---------------------	----------------------	---

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	救急蘇生法の指針 2020(市民用)	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	Webにて無償公開 https://qqzaidan.jp/wp-content/uploads/doc-shishin/shishin2020_shimin_hp.pdf へるす出版	2020
参	JRC 蘇生ガイドライン 2020	日本蘇生協議会	Webにて無償公開 https://www.jrc-cpr.org/jrc-guideline-2020/	2020
参	救急蘇生法の指針 2020(市民用・解説編)	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	へるす出版	2020
参	救急蘇生法の指針 2020(医療従事者用)	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	へるす出版	2020

・成績評価方法

演習終了時の救命救急法の修了試験（筆記）と受講時の技能習得状況により評価する（100%）
--

・特記事項・その他

心肺蘇生法の演習を実施するため、踵のある上履き、動きやすい服装で参加すること。

また、身体的な理由等により演習に際して配慮が必要な場合には申し出ること。
各授業に対して、事前学修に 120 分、事後学修に 120 分を要する。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター Acer H6517ST	1	資料掲示